

様式第1号

会 議 録

会 議 の 名 称	平成25年度 第1回 所沢市障害者施策推進協議会
開 催 日 時	平成25年7月16日(火) 午前10時から12時
開 催 場 所	所沢市役所 全員協議会室
出 席 者 の 氏 名	山口 直彦、植村 英晴、飯沼 勝男、木村 栄、鈴木 恭子、 鈴木 喜代子、池田 誠、竹内 正明、齋藤 和男、熊谷 大、 荒木 憲司、小田島 明、谷田 悦男、山口 美紗子、柴田 勲、 島村 典孝、玉津島 滝子、沼崎 則子 以上18名
欠 席 者 の 氏 名	田中 英樹 以上1名
説 明 者 の 職 ・ 氏 名	
議 題	本協議会について(公開) (仮称)総合福祉センターについて(公開)
会 議 資 料	<ul style="list-style-type: none"> ・ 会議次第 ・ 所沢市障害者施策推進協議会名簿 ・ 所沢市障害者施策推進協議会の役割と位置づけ ・ 所沢市の障害者施策の推進体制 ・ 所沢市財政トークス(平成25年5月発行)抜粋「3 所沢市の予算を「家計」に例えてみると・・・」 ・ (仮称)所沢市総合福祉センターの概要について ・ 第2次所沢市障害者支援計画 ・ 第2次所沢市障害者支援計画(概要版) ・ 障害者福祉ガイド ・ 所沢市障害者施策推進協議会設置要綱
担 当 部 課 名	福祉部 障害福祉課 電話 04-2998-9116 福祉部次長 美甘 寿規 障害福祉課 課長 磯野 尊治 主査 安座間 隆、吉川 泰央、森田 茂明、 青野 一矢、仲 修一 主任 中林 正太、竹内 志帆 福祉総務課 主幹 池田 康德 主査 佐藤 尊之 こども福祉課(こども未来部) 課長 青木 一圭 主査 守谷 義美

様式第 2 号

発言者	審議の内容（審議経過・決定事項等）
事務局(美甘次長)	<p>開 会</p> <p>委嘱替えによる委嘱状交付</p>
委員	<p>あいさつ</p> <p>委嘱替えによる新任委員のあいさつ</p>
事務局	<p>事務局ほか職員紹介</p>
会長	<p>会長選任 委員の互選により、植村英晴委員が会長として選任。</p> <p>副会長選任 委員の互選により、小田島明委員が副会長として選任。</p>
副会長	<p>あいさつ</p> <p>あいさつ</p>
会長	<p>10分間休憩</p>
事務局(吉川主査)	<p>本年度の会議録の作成方法及び会議録の処理について 会議録の作成方法は「要約方式」 会議録の処理については「発言委員の名前を記載しない」 会議録の確定については「議長の承認」 とすることを全会一致で承認。</p> <p>傍聴者入場</p> <p>《議題》 (1)「本協議会について」説明</p>
会長	<p>【質疑】 障害者施策に広く市民及び関係機関の意見を反映させること、支援計画の進捗状況や各セクションが予算を組むベースとなる項目、実施状況を確認することが重要な課題となります。 自立支援協議会との連携、推進体制、予算状況を踏まえ、初回ですので、協議会をどう進めていくか、広く市民及び関係機関の意見をより反映しやすくするために必要なことについて、</p>

	意見をいただきたいと思います。
委員	<p>支援計画の中身は立派なものだが、過大な理想で実行できないものでは意味がありません。実現可能な地道な計画が必要です。第2次での実践を踏まえて、各項目を良否、要否、可否で選別し、第3次に引継ぐ必要があります。</p> <p>また、例えば、当摩市長の市政下での福祉タクシー券廃止が行政で進められたような重大な問題が、支援計画・協議会の議論に持ち込まれなかった。財政の問題もあるが、重大な問題は協議会で議論を尽くされるべきです。</p>
事務局(磯野課長)	<p>計画策定その他の場で説明及び意見聴取の機会を設けてまいります。</p> <p>(2)「(仮称)総合福祉センターについて」</p>
事務局(池田主幹)	- あいさつ -
事務局(佐藤主査)	説明
会長	<p>総合福祉センターの概要について、場所・建設計画・主な機能の説明がありました。</p> <p>中でも相談支援機能が重要になります。障害関係に関しては相談者に対応する職員がなかなかいない、また、本当に重要な問題を抱えた方が相談窓口に来ることが困難な状況もあります。センターの中身を実のあるものにしていくことが全てに関わる非常に大きな問題となります。</p> <p>センターの中身に関してはこれからになりますので、中身に反映できるように、今の説明・その他のことについて、相談支援に携わられている方の意見が何かありますでしょうか。</p>
委員	<p>総事業費が25億円とかなり高額ですが、入札は実施したのでしょうか。</p> <p>また、障害者の利用の点で、車椅子利用者を運ぶ専用車の駐車スペースはどの程度確保されていますか。</p>
事務局(佐藤主査)	<p>今は設計見積りの段階で、契約の際には入札が行われます。障害者用の駐車場は5台で計画を進めています。</p>
委員	<p>障害者用の駐車場を5台とした根拠は何ですか。数の多少をどのように評価していますか。</p>
事務局(佐藤主査)	<p>駐車場は全体として68台を計画しています。</p>

	<p>障害者用の駐車場は窓口に近い雨よけの庇がかかるスペースを計画しており、そこに5台分を確保しています。</p>
会長	<p>障害者が障害者用の駐車場以外を利用することもできますか。</p>
事務局(佐藤主査)	<p>可能です。</p>
会長	<p>相談支援を実施している事業者の方、代表の方もいらっしゃると思いますが、意見はありませんか。</p>
委員	<p>総合福祉センター建設後の運営主体は具体的に決まっていますか。</p>
事務局(佐藤主査)	<p>全体の運営は現在の地域福祉推進室の機能を引き継ぐ(仮)地域福祉推進室がセンターの中に入って、具体的な運営を進めていく予定です。</p>
事務局(美甘次長)	<p>総合福祉センターの基本計画の中では、管理・運営を市の直営で行う方向性を示しています。</p> <p>総合相談業務は、障害者の相談、障害者総合支援法にある基幹型の相談業務を含めて、総合福祉センターの中でどのように進めていけばいいか、庁内の関係課によるプロジェクトチームでまとめています。ソフト面での運営をどのような団体にお願いすることが相応しいか検討しているところです。高齢者相談や2階に設置されることも支援センターでの発達障害の相談等も担当部署で検討を進めています。</p> <p>実施計画が形になりましたら、協議会に示して専門的な立場からご意見を頂戴したいと考えています。</p> <p>先程、駐車場のことでもご意見がありましたが、アクセスがよい土地という限られた資源を有効に活用する中で、駐車場もできる限り確保していく等、現在もいろいろな部分を調整しながらよりよいものを作りたいと考えています。</p> <p>今後とも皆さんのご意見をよろしくお願いいいたします。</p>
委員	<p>第3次所沢市障害者支援計画は平成27年4月からの計画ですが、総合福祉センターの実施計画の策定は平成26年4月と1年早いようです。今期の委員の中で第3次所沢市障害者支援計画を作成するときに、総合福祉センターの機能をどうするか、きちんと揉んでおかないといけないという判断でよろしいでしょうか。</p>
事務局(磯野課長)	<p>そのスケジュールでよろしいかと思います。</p> <p>支援計画の中で総合福祉センターの位置づけを記述したいと考えます。本協議会のご意見を伺いながら、計画の中に盛り</p>

込んで行きたいと思います。

委員

自立支援協議会でも基幹型の相談支援に関しては、研修・視察をし、検討をいたしました。

総合相談は、障害者の相談支援を含む福祉のより広い部分であり、公立・民間の事業所が実施している既存の相談支援とどのようにうまく機能し合えるのか、私達が望むのは相互の機能が調整され、今はない機能が総合相談の中にあり、今ある機能も生かすことが理想的であると考えます。

今後、総合相談に対する考え方も提示されるとのことなので、具体的になる段階で、それぞれの意見・現状と刷りあわせをして、さまざまなイメージはあると思いますが、理想に近い形を作って行ければと思います。

これからの議論に期待しております。

委員

県立特別支援学校も相談支援事業を実施しなければならない制度になっています。

人材育成機能についても、あまり知られていませんが、県立特別支援学校は県の特別教育課の事業としてボランティアを要請しています。特別支援学校を手伝ってもらうだけではなく、地域貢献できるボランティアを育成せよということで、若干予算もついて、いろいろやっています。

所沢にも相談支援事業がいろいろあるので、不十分かもしれませんが、今あるものを繋いでいだけでもだいぶ違うということを別の機会にも申し上げます。

総合福祉センターの主な機能として総合相談機能が掲げられていることは、大変立派なことです。児童・生徒はみんな所沢市民であり、保護者や先生方も大変期待しています。

同時にいろいろなところで似たような事業を実施しています。

所沢特別支援学校も元養護学校というところで教育に関するいろんなチャンネルを持っています。特別支援学校に来た相談をこども相談センターや教育センターに繋いで支援を進めていく事例や最近はこども相談センターに出てきた相談が教育関係だからと特別支援学校に回ってきた事例もあります。

市民からすると、どの窓口にも相談に行っても必要なところにちゃんと繋がっていく。特別支援学校は県立なので良く市の事業から取り残されることがあります。市民とすれば税金を払っているのは県であろうと市であろうと同じですから、風通しよくやっていただきたいと思います。

そういったネットワークもでき始めているので、是非組み入れていただきたい。

特別支援学校も今後この事業を展開することがとても楽になるので、大変期待しております。

<p>会長</p>	<p>総合福祉センターの説明を伺うと、どうしても従来の枠組みから話をされている。障害者のことを考えますと、教育・雇用・就業・その他も含めて総合的に判断が必要であり、従来の枠組みだけで考えていると機能的な総合相談はできないと思います。いろいろな知恵を出す必要があります。</p> <p>また、結果が出されてからではなく、企画の段階からできるだけ多くの方、枠組みを変えることは困難だと思いますが、各機関の方々が参画して、その中で参加意識を持って進めませんと自分達で作ったという意識は生まれず、本当に中身のある内容になっていかない気もします。折角の機会ですので、十分に議論をしていただき、折角25億円もかけて作るのですから、実質的に機能でき、従来の枠組みだけでなく、広く相談支援ができる体制が作られればよいと是非お願いします。</p> <p>推進協議会に参加されている方は、決まってからの評価だけではなく、実際に相談支援をやっている中での問題点をどのように解決していくかを含めてご提案をお願いします。</p> <p>協議会も年度内に2回ございます。その間に市も意見聴取をしたいと思いますので、各立場でご意見をいただいて、投資に見合ったサービスを作り上げていくというところで、まとめとさせていただきます。</p>
<p>事務局(池田主幹)</p>	<p>地域福祉推進室より、本日の資料は昨年8月に作成された基本計画の抜粋となっております。基本計画全体のものとは5月に設計が終わりました基本設計の図面を後日送付いたしますので、ご意見をいただければと思います。</p>
<p>事務局(磯野課長)</p>	<p>事務局としては、特に総合相談機能やハード面でのご意見を頂戴したく存じます。意見聴取の方法につきましては、後日、お知らせいたします。</p>
<p>会長</p>	<p>本日出された意見につきましては、協議会の意見としてお出ししたいと思います。</p> <p>質疑終了</p>
<p>事務局(仲主査)</p>	<p>長時間の議論、ありがとうございました。</p> <p>次回の開催につきましては、10月を予定しています。第2次所沢市障害者支援計画の概要、平成24年度の進捗状況、第3次所沢市障害者支援計画策定の進め方について、ご意見をいただく予定でございます。</p>
<p>副会長</p>	<p>あいさつ</p> <p>閉会</p>